

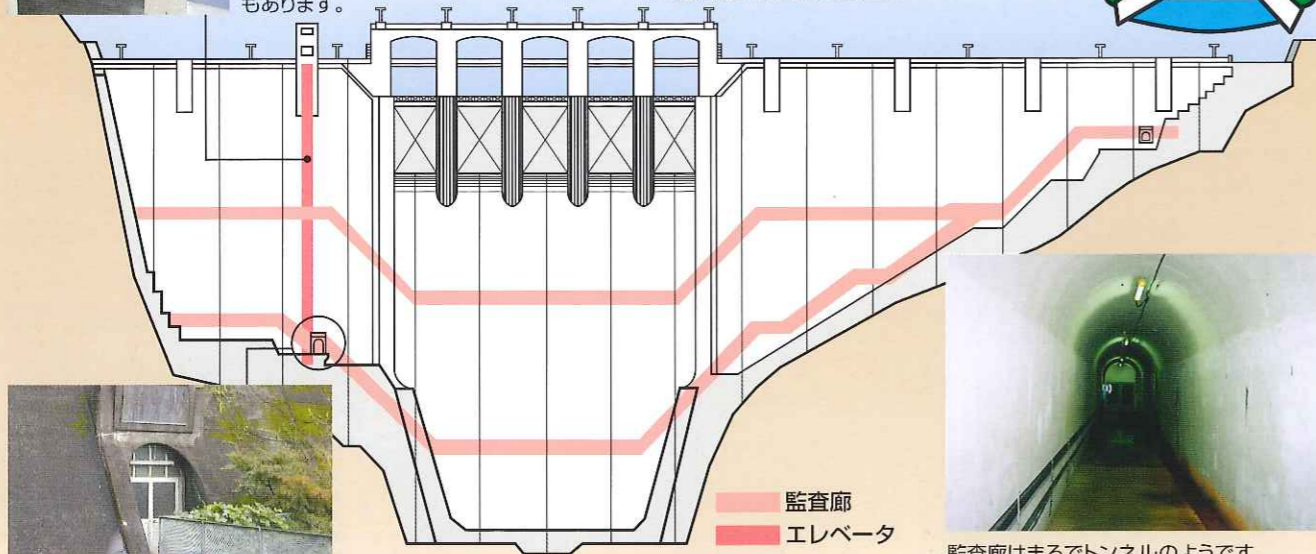
ダムなぜ なに大辞典

今回のテーマ ダムの中っていったいどうなっているの？

現在の丸山ダムも丸山ダムを嵩上げて作る新丸山ダムも見かけは“コンクリート”の壁のよう。でも、ダムの中にはダムがその機能を十分発揮できるように様々な設備が作られています。今回は、丸山ダムを大解剖！ その内部をお見せします。
※ダムの形式によって内部の設備は異なります。



ダム内部の見回りや点検、維持補修作業を効率良く行うためエレベーターもあります。



ダムの内部には「監査廊」という通路が作られています。ダム全体に通ったトンネルのような監査廊は丸山ダムで全長約600m。ダムの内部を歩いてまわり、ダムから水がもれていないか、ダムが水に押されて動いていないかなど、外からでは分りにくい、ダムの異常を点検することができます。
(取材協力：丸山ダム管理所)



監査廊ってまるで地面の中にあるアリの巣みたいだ！



監査廊はまるでトンネルのようです。



ここがダム内部への出入口。



監査廊の内を流れている水の量を測り、ダムから水がもれていないかチェックしています。



地震によるダムへの影響がないか調べるため、ダムの中でも地震の大きさを測ることができます。



ダムが水におされて傾いていないか点検しています。

11月14日(日)に開催する『新丸山ダムふれあい広場』では、『丸山ダム見学ツアー』を行います。みんな参加してね！



クイズコーナー

丸山ダムの監査廊はどのくらいの長さがありますか？
① 約400m ② 約600m ③ 約800m

前回のクイズの答えは③の186.0mでした。

国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>
メールアドレス shinmaru@cbr.mlit.go.jp



もしもしテレフォン
新丸山ダムについてどんな事でもお気軽にお問い合わせください。
0574-43-2780(代)

私たちも応援しています。



この情報誌は再生紙を使用しています。

2004.10

みずしるべ

国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所情報誌



●今号の表紙

新丸山ダムの建設が進められている八百津町には、豊かな自然の恵みがいっぱい。いたるところに見られる森林。伝統的な手法で作られる「栗さんとん」は素朴なふる里の味わいです。また、古くからマツタケの産地としても知られていた八百津町。マツタケ山の再生の取り組みが盛んに行われています。

2004
34

ダムなぜなに大辞典 **クイズコーナー**

5名様にプレゼント
 使わないときは小さくたためてとっても便利な…
ふわふわレジャーシート



広げると60cm×100cmになるよ。

●応募締め切りは平成17年2月28日消印有効です。
 当選者の発表は発送にかえさせていただきます。

新丸山ダムホームページ/みずしるベQ&A アドレス

http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/12_qa.html/

みずしるべのアンケートでみなさんから寄せられた質問とその回答は、国土交通省新丸山ダム工事事務所ホームページに掲載しています。上のアドレスにアクセスしてみてください。これからも、みなさんの質問にどんどんお答えしていきます。

郵便はがき

料金受取人払

八百津局
承 認

29

(受取人)

岐阜県加茂郡八百津町八百津3351

国土交通省 中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

みずしるべ34号 アンケート係 行

差出有効期間
平成17年2月
28日まで
(切手は必要
ありません)

氏名	性別	男・女
ペンネーム /	※ペンネームでの掲載を希望される方のみ	
住所	〒 -	
TEL	()	年齢 才
職業 (学校名)		

クイズの回答 1 2 3 正しいと思われる番号に○をつけてお答えください。



廃校を利用した新しい文化交流拠点「野の花学校」

八百津町潮見で

自然の草花を活かした創作活動を行う

花人 **杜達史**さん



荒れ放題だった校舎の中も地元の方々の助けもあって、今では廃校前のようにきれいになりました。今にも子供たちの笑い声が聞こえてきそうですね。

**旧潮南中学校との出会いは
取り壊し直前**

八百津町の中心から車がやっとすれ違うことができる山間の道を走ること約30分。八百津町潮見では、自然の草花などを活かした創作活動に取り組む、花人・杜達史さんと地域の方々が一緒になって、廃校になった旧潮南中学校の校舎を利用した新しい文化拠点づくりを行っています。「野の花学校」と名付けられたこの交流拠点では、杜さんの作品に接することができただけでなく、音楽やダンス、料理などを共演させた季節感あふれる催し物を展開。過疎化の進む潮見に新たな活力が生まれつつあります。

以前は長野県松本市を活動の拠点にされていた杜さん。「信州の厳しい自然をずっと愛してきたのですが、僕が扱っている素材「植物」を少し柔らかいものに変えてみたかった。例えば、信州にはツバキがないんですよ。植生の違うところで自分を見つめ直し新たな創作活動を行いました。そんな理由から「途・中下車」さえすることのなかったこの地で活動できる場所を探しはじめました」。

**「ごめんなさいと摘み
自然のままいける」**

約150名が参加して催されたお披露目の会では、地元の子供と作った段ボールの「おせん」と野花の「はし置き」でもてなし。会の終わり頃には、杜さんの作品に感化されてか、はしおきの野花を集めた子供がお花の実演(?)をする場面もあったとか。「作品に用いる草花は自分で摘んでくる。ごめんなさいという摘み、自然そのままの姿を生かしている」。自然豊かな潮見だからこそかなう活性化の試みが、文字通り「花開く」ことを私たちも心待ちにしています。



杜さんの車が学校前に駐車してあれば校内を利用することができます。また、催し物は有料で開催されています。興味のある方は下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先/野の花学校 0574 (42)1461

お披露目の会



1 エコロードを利用する動物たちを確認しました。



新丸山ダム工事事務所では、周辺地域の自然環境をできるだけ大切にしながら事業を進めていきたいと、建設する道路に対して「エコロード※」としての取り組みを進めています。今年度は、これまでに行った様々な取り組みについて、モニタリング調査を実施し、整備成果の確認を行っています。今回、一般国道418号の付替道路の八百津町南戸付近に設置した通路で、自動撮影による調査を実施したところ、タヌキとハクビシンが利用している状況が撮影できました。この通路は、これまでにこの付近で確認されているタヌキや

テン、キツネなどのほ乳類が道路を安全に横断できるように配慮したもので、動物の通路と水路の機能を持っています。モニタリング調査の結果は今後のエコロードの取り組みに役立てていきます。

※エコロード
自然環境(生き物)に配慮した道路、道づくり。新丸山ダム建設事業では上記の通路(カルバートボックス)のほか、貴重な植物の生育地を保全するための道路構造の検討や落下した小動物がはい出せる側溝の整備などを行っています。



2 環境調査で“ツミ”の繁殖を確認しました。

現在実施中の環境調査で、小型猛禽(もうきん)類の「ツミ※」の繁殖が確認されました。ツミが確認されたのは八百津町内、木曾川支流上流域の急峻な山間地。日本野鳥の会岐阜支部によると、岐阜県内でツミの繁殖が確認されたのは初めてということです。今回の調査では、ツミの繁殖行動が見られたほか、6月下旬には繁殖に利用したと思われる巣と巣立ち直後と思われる幼鳥1羽を確認しました。



※ツミ
翼を広げた長さ51.5~62.5cm、ハトより小さな小型の猛禽類。スズメやシジュウカラなどの小型鳥類、ネズミやモグラなどの小型ほ乳類、昆虫などを捕食する。中央シベリアから中国東北部、朝鮮半島、日本などで繁殖し、日本では北海道から九州にかけて広い範囲で生息。近年では都市近郊の林でも確認されている。

3 飛騨木曾川公園線トンネルが貫通しました。

平成15年3月に着工した「飛騨木曾川公園線トンネル(仮称)」は、平成16年10月8日に貫通式を迎えました。

この延長1,183mのトンネルは国道21号とダムを結ぶ資材運搬線の一部です。今後はトンネル内の舗装工事、電気機械の設備工事等を進めていきます。



飛騨木曾川公園線トンネル貫通式

4 平成16年度より新しく『機械課』を設立しました。

平成16年度より、●新丸山ダム工事事務所組織図(平成16年度)
新丸山ダム建設に必要な機械設備の工事や設計、積算に関する業務を行うため『機械課』を新たに設立しました。新丸山ダム完成に向けての新たなステップです。

事務所長	副所長(事務)	(職員数29名)
	副所長(技術)	
	用地官	
	建設監督官	
	総務課	行政相談、経務、福利厚生、会計契約、管理に関する業務。
	用地課	公共用地の取得に関する業務。
	工務課	ダム建設、周辺付替道路等の予算、工事、設計、積算に関する業務。
	調査設計課	ダム建設に関する調査及び計画業務。
	機械課	ダム建設にかかる機械設備の工事、設計、積算に関する業務。

イベントガイド

平成16年11月14日(日) 『第12回 新丸山ダムふれあい広場』を開催します。

平成16年11月14日(日)、新丸山ダム工事事務所にて『第12回新丸山ダムふれあい広場』を開催します。今年も『パネル展示』や『体験学習コーナー(水や環境)』、『流木を使った木工細工コーナー』、『降雨体験機』など楽しい催し物がいっぱい。今回初めて知った方も、毎年楽しみにされている方も、楽しく遊べて、新丸山ダムのことがもっと良く分かる新丸山ダムふれあい広場にぜひ、お誘い合わせのうえでご参加ください。みなさんのご来場を心よりお待ちしております。



昨年度の新丸山ダムふれあい広場

ミュージカル 森と川と水源地のものがたり 『リバーヘッド』を開催しました。

ミュージカル森と川と水源地のものがたり『リバーヘッド』の公演を、平成16年7月29日(木)、美濃加茂市文化会館にて開催しました。当日は約700名の方々にご来場をいただき会場はほぼ満席。エンディングではたくさんのあたたかい拍手をいただき、「楽しかった」、「感動した」などのうれしい感想もたくさん寄せられました。また、会場ロビーには、昭和58年9月の災害写真を展示。美濃加茂市、八百津町で起きた災害に、当時のことを振り返る方や興味深げに写真をご覧になる方などがいらっしゃいました。



蘇水峡川まつりにて 『新丸山ダムふれあいコーナー』を開催しました。

平成16年8月1日(日)、八百津町で行われた蘇水峡川まつりに、『新丸山ダムふれあいコーナー』を設置し、新丸山ダム工事事務所のメンバーが参加しました。『しんまるくんふうせんコーナー』や『らくがきコーナー』などのイベントにたくさんの方々の参加をいただきました。特に『まぐねっとさかなつりコーナー』は子どもたちに大人気。魚を釣り上げる表情は真剣そのもので会場は大いに盛り上がりました。



インフォメーション

貸し出しします

災害学習ビデオ 『泥にまみれた日記帳～忘れ得ぬ9.28災害～』



9.28災害の様子

昭和58年9月28日に美濃加茂市で発生した水害の学習ビデオとして、『泥にまみれた日記帳～忘れ得ぬ9.28災害～』を作成しました。本ビデオは、災害の様子とその恐ろしさを、実際に体験された方の日記や体験談をもとに、当時の記録映像を交えながら構成しています。災害を知らない世代にもその恐ろしさを伝えていくため、美濃加茂市などの小学校に配布するとともに当事務所にて貸し出しを行っています。

●興味のある方、貸し出し希望の方は下記までご連絡ください。

☎ご連絡先 国土交通省 新丸山ダム工事事務所 調査設計課
TEL.0574-43-4173 E-mail: shinmaru@cbr.mlit.go.jp (担当/後藤、中野)

地域の方々と一緒に作っています

地域の風土特性と調和したダム施設づくり 『丸山蘇水湖風土伝授マップ(仮称)』



第1回編集会議の様相

丸山ダム湖がある岐阜県中濃地方は、歴史的・文化的資源に恵まれた地域。新丸山ダム建設においても、地域の風土特性と調和し、良好な風土の形成に役立つ施設デザインや地域づくりなどへの配慮が必要です。そこで、新丸山ダム工事事務所で行った風土資産調査結果に基づき、地域の方々とともに良好な地域風土を見直そうと『丸山蘇水湖風土伝授マップ(仮称)』の制作を行うことにしました。平成16年9月17日(金)には第1回目となる編集委員会を開催。来年3月の完成を目前に今後、編集作業を進めてまいります。

●地図に掲載する情報をお持ちの方は下記までご連絡ください。

しるまるカルチャー倶楽部



しるまるくんの似顔絵、ダムや川に関するイラストなどお寄せください。
みなさんからの楽しい作品をまっています。

●ご応募いただいた作品をご紹介します。



ペンネーム 減税推進さん(八百津町) 松本 啓汰さん(御高町) 杉下 寧々さん(可見市) 水
ペンネーム たっちゃん(尾西市)



ダムや川に関する川柳を募集しています。
前回のお題は『清流(せいらいゆ)』でした。

●ご応募いただいた作品をご紹介します。



●今号のお題は『湖(こ、みずうみ)』です。
“湖(こ、みずうみ)”の文字を入れてがどんな川柳が創られるのか楽しみにしています。

INFORMATION

掲載させていただいた方全員に「新丸山ダムオリジナルグッズ」を差し上げます。

今回の募集締切は平成17年2月28日
次号みずしるべの発行は4月を予定しています。

ふるってご応募ください。編集スタッフ一同楽しみにしています。

ペンネームでの掲載を希望される方は、当広報誌に付いているアンケートハガキの氏名欄に、ペンネームを必ずご記入ください。

おしゃべりBOX

みなさんから寄せいただいた新丸山ダムや広報誌などに関するご意見やご質問などを紹介しています。

●テーマに関するご意見

台風や地震などいざという時に 役立つ災害への心得

丸山ダムの上流部に持山があります。台風等の大雨の水量調節にはダムは欠かせない施設ですが、主人は、ダムにたよるだけではダメだ。少しでも治水に役立つならと、持山の間ばつをしたりして、広葉樹が育ち保水が少しでも増すように心がけています。

ペンネーム さちさん(八百津町)

台風の時は舟を避難させないといけないからものすごく大変。だからいつも天気は気にしています。木曾川の下流で釣り取りをします。水がきれいなことはいいのですが、キャンプや釣り取りのファミリーが帰った後の川べりはゴミの山です。どうしてマナーが守れないのでしょうか。

ペンネーム ミユキ丸さん(三重県長島町)

笛です。もし押しつぶされて声をあげられなくても笛だったら良く聞こえるそうです。

ペンネーム ヒルマンさん(恵那市)

●その他のご意見

子供の頃は自転車にてサイクリングし、湖にて魚を釣ったことが夢のようです。地域の観光地として発展を願うものです。一度、自動車の運転出来るうち(シルバーマーク付車)にお邪魔したいですね。

ペンネーム 恵那山人さん(恵那市)

みずしるべを見ましたが いかに水が大切かと思えます。これからも一番大切なのはなんといっても水です。にんげんが生きていくにはやはり水で皆で 水を大切にしていきたいですね。

ペンネーム モエコちゃん(瑞浪市)

●今回のテーマ

私の洪水体験談

についてお便りをお寄せください。また、新丸山ダム建設に対するご意見、ご質問などもお待ちしております。

アンケート調査にご協力ください。

新丸山ダム建設事業、情報誌みずしるべについてみなさんのお意見をお聞かせください。いただいた貴重なご意見は、今後の事業推進や広報活動、みずしるべの編集等に役立てます。

●回答は下の「アンケート回答用紙」ご記入のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

質問項目

Q1 一番興味の持ったコーナーはどれですか

1. Now & New
2. Hot Line
3. ふれあいスペース
4. ダムなぜなに大辞典
5. その他

Q2 今後みずしるべに掲載してほしい内容はなんですか

1. ダム事業の理解を図る内容
2. 地域の方々との交流を深めることのできる内容
3. ダム周辺地域をPRできる内容
4. その他

Q3 新丸山ダム建設に希望されることはなんですか

1. 早期の完成
2. 環境への配慮
3. 工事の安全性
4. その他

みずしるべ34 アンケート回答用紙

●該当する数字に○を付けてお答えください。

「4.その他」とお答えの方は具体的なご意見もご記入ください。

Q1 1 2 3 4 5 ()

Q2 1 2 3 4 ()

Q3 1 2 3 4 ()

ご協力ありがとうございました。

おしゃべりBOX・しるまるカルチャー倶楽部(絵画・川柳)

応募スペース

●新丸山ダム建設に対するご意見、ご質問などもお待ちしております。